

平成 30 年度犬山市公共施設マネジメントに関する民間提案制度の審査結果について

平成 30 年度犬山市公共施設マネジメントに関する民間提案制度の提案募集案件と審査結果は以下のとおりです。

1. 平成 30 年度 提案募集案件一覧

No.	事業名	事業内容	事業化の条件等
30-1	フロイデ利用者 駐車場事業	国際観光センター・フロイデは、他施設の機能を移転させ、2020 年 4 月に「(仮称)市民交流センター・フロイデ」としてリニューアルオープンする予定です。しかしながら、現状では、利用者のための駐車場が不足することが予想されます。そこで、恒久的に駐車スペースを確保するため、新たな駐車場の整備、運営手法の確立を目的として提案を求めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模、運営手法等は問わないが、資金調達の方法を明確にし、実現可能な計画とすると共に、募集要項に則り、本市との協議を経て提案者の責任において事業化できること。 ・最小の経費で最大の効果が得られること ・2020 年 3 月末までに駐車台数(210 台)を確保することを目標とすること。

2. 審査の経緯

- ・審査日:平成 30 年 12 月 14 日(金)
- ・審査会場:犬山市庁舎4F 会議室
- ・審査方法:犬山市経営会議にて審査(市長・副市長・教育長・部長職で構成)

3. 審査結果一覧 (提案受付順)

提案者	提案概要	採否の主な理由	審査結果
大和リース株式会社 名古屋支店	犬山市所有のフロイデ北側駐車場・駐輪場に加え、十六銀行の敷地の一部を大和リースが借地し、自走式立体駐車場(3 層4段式、195 台)を整備するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・恒久的に収容台数を確保することが可能 ・現状の借地を返却することが可能 ・設計、施工、管理の一体化によるスピード整備が可能 ・まちづくりの観点から駅東地区の高度利用が期待できる 	採用
名鉄協商株式会社	名鉄協商が運営する駅東駐車場を活用し、フロイデ駐車場が混雑した際に、その不足台数を補填するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな駐車場を整備する必要がないため、早期に実施が可能 ・コストは不足分を補填する分のみのため、安価 ・財産(駐車場)所有という独自性 	採用